デュッセル
NEWS 2016 年 11 月号
No.107

Messe Düsseldorf Japan

デュッセルドルフからのニュース

ツール・ド・フランス 2017 はデュッセルドルフで開幕！

10 月 18 日、パリにて自転車プロロードレースの世界最高峰＝ツール・ド・フランスの主催者は 2017 年のルートを発表した。オリンピックと FIFA ワールドカップに次いで重要なスポーツイベントと言われている本大会は、フランス国内でのレースが中心だが、周辺国が舞台になるステージもある。次回 2017 年のレースは、例年通り 7 月 1 日にスタートし、3,516km の距離にわたって、23 日にパリでゴールを迎えるが、今回のスタート地点（グランデパール）にデュッセルドルフが選ばれた。第 1 ステージは、メッセ会場をスタート地点とする 13 キロの個人タイムトライアル。翌日の第 2 ステージ（202 キロ）は、同市周辺の約 90 キロを走行し、隣接ベルギーのリエージュ市へ向かうコースだ。過去、ドイツが開幕地になったことは 3 回あったが、直近は西ベルリン（1987 年）まで遡り、今回 30 年ぶりにドイツでのグランデパールとなる。リハーサルとして、先々月、デュッセルドルフで約 4,000 人のプロとアマチュアのサイクリング愛好者が参加し、来年 7 月本番と同じルートのレースを実施した。本番では 200 万人の観覧者が見込まれる。このビッグイベントに向け、デュッセルドルフ市は 1.1 百万ユーロの予算を予定している。

出典：

2016 年 10 月 18 日付 City of Düsseldorf（www.duesseldorf.de）

2016 年 10 月 18 日付 Tagesschau（www.tagesschau.de）

2016 年 10 月 18 日付 FAZ （www.faz.net)

メッセ・ニュース

K 2016 – 開催報告（速報）

10 月 19 日から 8 日間にわたり行われた『K 2016 – 国際プラスチック・ゴム産業展』に、世界 61 か国から 3,285 社（K 2013＝59 か国 3,215 社）が出展、160 を超える国と地域からおよそ 230,000 もの業界関係者（K 2013＝108 か国 217,423 人）が来場し、大盛況裡のうちにその幕を閉じた。

特筆すべきは、来場者の質だ。意思決定者、あるいは意思決定に関わる方の来場割合が高く、活発な商談が行われ、契約、もしくは新規プロジェクトの立ち上げに至るケースもあった、と多くの出展者が報告している。また、ドイツ国外からの来場割合が 70%強と、非常に国際性が高い。なかでも、それに貢献しているのは、インド、中国、韓国、イランなど、アジア地域からの来場で、およそ 30,000 人を記録している。

Japan Day

日本からのお客様に、視察の成果を最大限に挙げていただく一助として、MDJ は、会期中の 10 月 24 日（月）を『Japan Day』とし、会場巡回ハイライトツアー、現地セミナー、懇親会と、計 3 つのプログラムを行った。

会場巡回ハイライトツアー　業界注目の製品を紹介する出展者のブースを訪問し、各社からプレゼンテーションを受けるもので、素材（BASF、Borealis、Covestro など）と機械（ARBURG、Reifenhäuser、Windmöller & Hölscher など）の 2 本を実施した。

現地セミナー　ドイツ・欧州の業界動向・トレンドなど、日本の関係者にご興味を持っていただけるトピックスについて、ドイツ機械 工業連盟（VDMA）、ドイツ強化プラスチック連合（AVK）、欧州バイオプラスチック協会から講師を招き、お話いただいた。

次回の K は、2019 年 10 月 16 日（水）～23 日（水）に開催される。なお、ファイナル・レポート日本語版は、11 月中に発行予定。　（担当：橋木）

MDJ　IN　日本

危機管理産業展（RISCON）にて A+A 国際労働安全機材技術展ブースを出展

毎秋、東京ビッグサイトにて開催の危機管理産業展-RISCON（主催：東京ビッグサイト）に、弊社 MDJ は今年も「A+A 国際労働安全機材・技術展」のインフォメーション・ブースを出展。主に来年 10 月の A+A 2017 の出展者募集をメイン目的に 3 日間の会期に参加した。

A+A と RISCON の共通のテーマは「安全」であり、主に作業現場の安全をテーマとする A+A と、災害・セキュリティに関する安全をテーマとする RISCON は双方の異なる分野から新たな参加者を引き連れる相乗効果を生み出し、日本の業界関係者の中でも A+A の認知度は年々高まっている。

A+A 2017 の出展申込個別ミーティングを開催（申込締切 12 月 1 日）

弊社ブースでは、事前にアポを取られた出展希望の方を含め、数社と来年度の A+A 出展申込に関してのご案内を行った。A+A は近年、出展者増加を理由に会場フルブッキングでの開催が続いており、間もなく締切となる申込締切日前の申込が必須だ。

（出展をご希望される方はお急ぎこちらの出展者向けご案内をご確認ください）

世界で開催される A+A プロダクトファミリーもご案内

同じく、来場者に向け、A+A がトルコ、インド、シンガポール、中国など、世界の成長地域で開催する労働安全展の開催情報も発信した。これらプロダクトファミリーはローカル展示会であるため、よりエリアに密着したマーケティングが可能であると、出展者からの評価も高い。詳細はこちらより。

テュフ·ラインランド·ジャパンによる CE マーキングセミナーも開催

また、今回、同展の併催セミナーとして、弊社と製品安全認証等の第三者機関であるテュフ·ラインランド·ジャパン（株）とで、会期初日に、個人保護具指令等に基づく労働安全関連製品の欧州市場への参入をテーマとした、CE マーキングのセミナーも開催し、30 名を超える聴講者が参加した。

（担当：服部）

エネルギーNEWS

エネルギー業界の産業再編成：ソーラーと貯蔵の融合、自動車が貯蔵へ

エネルギー貯蔵業界が変わりつつあることはよく言われます。しかし、今回の動きは貯蔵装置（蓄電池）のキャパシティー強化や、蓄電池の価格減少による電気自動車の普及上昇などを超えるレベルです。エネルギー貯蔵業界は根本的な産業再編成を経験していると言っても過言ではないでしょう。いくつかの事例を次に挙げます：

- 電気自動車のパイオニアであるアメリカのテスラモーターズ社は、2016 年 11 月 8･9 日、メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンが東京で開催する「エナジー・ストレージ・サミット」で発表したように、電気自動車メーカーからエネルギー貯蔵業界の巨人になろうとしています。その一つのステップは、家庭用の利用を目指すエネルギー蓄電システム「パワーウォール 2」の開発です。メーカーによると、2LDK の家庭に丸 1 日分の電力を供給できるとのこと。次のステップとして、テスラと同じくカリフォルニアに本社があるソーラー・シティ社の買収です。テスラのマスク氏も株主であるソーラー・シティは、ソーラー・パネルの販売会社であり、最新製品として、ソーラーセルに見えないが、ソーラー・パネルがインテグレートされた屋根瓦があります。2 社の合併により、エネルギー業界の「ウーバー」のような企業に化けるかもしれません。というのも、2 社とも装置を所有しなくとも、顧客に提供する（他社メーカーの）製品とサービスによって、十分な付加価値をつくることができるからです。
- 同様のビジネスモデルは、ドイツの「Sonnenbatterie」の最新製品です：同社は「SonnenCommunity」と称する Peer-to-Peer エナジー・トレーディング・コミュニティーを開発しています。電力会社の関与なく、コミュニティーのメンバーは、自らのソーラー・パネルによって生産されるエネルギーの販売が可能であり、パネルを所有しない人が購入します。Sonnen 社はエネルギーの取引を管理するプラットホームのみを提供します。
- 弊社発行の週刊「エナジーストレージ NEWS」でもご案内の通り、ドイツの高級車メーカー、ダイムラー社がエネルギー貯蔵装置を生産・販売する子会社「Deutsche ACCUmotive」を設立し、家庭用と産業用の電池を提供します。
- また他のエネルギー業界から貯蔵産業に参入する事例として、石油販売を主なビジネスとするフランスの Total 社の蓄電池メーカー、Saft 社の買収があります。もちろん石油販売を転換するのではありませんが、買収金額が 11 億ユーロである今回の取引は、石油会社もエネルギー貯蔵業界の将来的な成長を見込んでいる、との解釈に間違いはないようです。

*出展：*http://www.energy-storage.news/news/merged-tesla-solarcity-could-be-uber-of-energy

https://cleantechnica.com/2015/12/06/germanys-sonnenbatterie-launches-energy-trading-platform/

https://www.greentechmedia.com/articles/read/what-the-oil-and-gas-supermajors-can-learn-from-totals-battery-buy

デュッセルドルフ　レストランガイド

今月ご紹介するのは、デュッセルドルフの一流トルコ・レストラン„ザ・ボスポルス“
(Bosporus →ボスポラス海峡の意。)　です。

3 人の仲間が夢のレストランを実現するために協力し、立ち上げたレストランです。2015 年に長い改装を経てリニューアルされた店内は、明るい色合いで統一されてエレガント、かつ活気にあふれる雰囲気です。3 人のオーナーはそれぞれ違う地方の出身で、それぞれにトルコ・地中海風の高級料理を世に広めるという使命を感じてお料理を提案しているそうです。特に新鮮な魚料理が得意で、店内には魚を展示したケースが用意されており、お客様のテーブルにはその日のお勧めの魚がお盆に乗せられて運ばれ、そこから希望のものを選びます。3 人のオーナーがそれぞれサービスにも当たっており、大変楽しい雰囲気と親切なお料理の説明もあって、飽きることがありません。いちばん奥に厨房がありますが、そこでは調理される際に炎が上がるのが見受けられ、なかなか良い雰囲気です。トルコのワインをご存知の方は多くないかもしれませんが、お勧めのワインを尋ねて試してみられることをお勧めします。この店でしか飲めない直輸入のワインもあるということです。普段も大盛況のお店ですので、見本市期間中は特に混雑するため是非予約をなさってください。

トルコのお料理は野菜が豊富です。日本人の味覚にもよくあってきっと楽しんでいただけると思います。メニュー(独・英併記)はこちらからご覧いただけます。
メニューには　お魚料理の値段が記載されていません。新鮮なお魚はその日の仕入れでお値段が変わります。舌平目は一人前 35 ユーロから、タイやオオカミ魚は 20 ユーロから。魚料理には様々な付け合わせが選択できます。珍しいトルコのデザートも楽しめます。

店名：　The Bosporus
住所：　Karl-Rudolf-Straße 174,　40215 Düsseldorf　　電話：　Tel: +49 211 416 55 194
見本市会場からは市電 U79 で　最寄り駅 Oststr. 下車　徒歩約 13 分。

メッセ雑学

ブース装飾の役割：装飾以上に、顧客開拓のツール

ドイツのメッセは、日本の展示会と違って「商談の場」であることを繰り返しご案内しました。ビジネス成功を達成するため、（ポテンシャルを含む）顧客との事前のアポ取りが重要です。しかし、それだけではありません。ドイツのメッセと日本の展示会の、大きな、もう一つの違いは「ブース装飾」です。

ドイツ見本市協会 AUMA の調査によりますと、ドイツの出展企業がメッセ参加にあてる予算の 20.7%は参加費用（ブース面積代）、そしてそれを上回る 30.8%をブース装飾、掃除、警備などに使っています。言い換えますと、メッセに参加する予算の約半分はブースのために使用されます。その理由として、以下の二つがあげられます。

① メッセ会期中、ドイツ企業はメッセブースを営業拠点として利用し、営業マンの多数が会場で営業をしています。4 年に一回開催される印刷・メディア展 drupa に出展するドイツの印刷機械メーカーHeidelberg 社は、drupa 会期中にドイツの営業スタッフの２５%が会場ブースにアテンドしました。もちろん、多数の営業マンがアテンドすると、営業に必要なスペース（展示だけではなく商談スペース）も必要です。

② 特に BtoB のメッセの場合、来場者はマネジャー層が多く、事前にアポをとって来場します。この人たちは会場をゆっくり回る時間がほぼありません。仮に時間があっても、メッセの会場を回る際、ブースを見て 3 秒以内で、そのブースに立ち寄るかどうかを決めます。ブースが魅力的でなければ、絶対入りません。出展者は予算が限られていても、準備段階でブース装飾業者とブースのコンセプトについて打ち合わせをし、できるだけターゲット層の注目を集めるブースを考える必要があります。

MDJ サービス ALLIANCE

弊社ではメッセの経験豊富なブース装飾業者 3 社とサービス ALLIANCE のメンバーとして契約しています。この 3 社は皆様のドイツのメッセにおいてビジネス拡大につながるブース装飾を提供してきた実績があります。日本で、日本語での打ち合わせはもちろん、現地でのサポートも可能です。ぜひ、このアイデアとパワーをご利用ください！

目立つブースデザインの事例：

来場者向け情報

現地の交通案内、デュッセルドルフ市内地図やレストラン・ガイドなどについての情報は[こちら]をご覧下さい。
iPhone などアップル製モバイル機器ご利用の方に、出展者や製品検索に「Messe Düsseldorf App」をお勧めします。AppStore で「messe」を検索して下さい。

Valve World Expo 2016 – 国際バルブ技術会議・専門見本市
2016 年 11 月 29 日～12 月 1 日

計 3 ホールに世界 40 か国から 600 を超える企業が最新製品・技術を発表します。同時期に、関連するポンプ業界のミーティングポイント「Pump Summit」が初開催されます。さらなる注目を集める本メッセに、ぜひご来場ください。出展者検索、入場券販売　渡航宿泊　　（担当：ユング）

International PackTech India 2016 – インド国際包装産業展・会議
FoodPex India 2016 – インド国際食品加工・包装産業展
2016 年 12 月 15 日～17 日（インド・ムンバイ）

インド、そして南アジアの業界関係者が集結する『International PackTech India』は、今回から、食品・加工・包装分野を『FoodPex India』として明確化し、さらに効果的な専門メッセへと進化します。『International PackTech India / FoodPex India』をご視察になり、インドの今とこれからをつかんでみませんか？　　（担当：橋木）

GDS 2017 winter – 国際シュー＆アクセサリフェア（秋冬）
tag it! 2017 winter – 国際プライベートレーベルフェア（秋冬）
2017 年 2 月 7 日～9 日（ドイツ・デュッセルドルフ）

次回の『GDS & tag it 2017 winter』を、来年 2 月に控え、早くも来場事前登録がスタートしました。現地会場にて来場手続きをなさる場合、入場料を頂戴しておりますが、専用ページにて事前にご登録いただくと、無料券をご入手いただけます。ぜひ、ご利用ください。　　（担当：橋木）

上記以外の開催間近のメッセ情報につきましてはこちらのメッセ・カレンダーをご覧いただくか、こちらよりお問い合わせください。

出展者募集中のメッセ

arabplast 2017 – アラブ国際プラスチック・ゴム産業展
2017 年 1 月 8 日～10 日（UAE・ドバイ）

arabplast は、豊富な天然資源を背景に、石油化学産業が発達する湾岸諸国の代表的な経済都市、ドバイで開催されます。前回は、2015 年 1 月に行われ、41 か国・906 社が出展、来場者は、世界 119 か国から 27,628 人を記録しました。次回開催までおよそ 7 週間ほどと迫っておりますが、小間をご案内できる限り、出展申し込みをお受けしております。ご検討中のお客さまは、お早めにお問い合わせください。（担当：橋木）

glasspro INDIA 2017 – インド国際板ガラス加工機材展
2017 年 2 月 23 日～25 日

同じ会場で glasspex との同時開催、新たに誕生した glasspro 展は、板ガラスの加工や機材に関わる専門見本です。同展は、他社主催者と「Build Fair Alliance」の共同で、他の建設見本市と同時開催されます。各種ご案内（担当：ユング）

ProWein 2017 ― 国際ワイン・アルコール飲料展
（2017 年 3 月 19 日～21 日）

当展示会は国際性がもっとも高く、出展者は 59 ヵ国から 6200 社、専門バイヤー（ビジター）は 126 ヵ国から 55,000 人。日本のワイン、日本酒を海外に販売するには、最も適切な商談イベントです！ジャパン・パビリオン「Taste of Japan」を設置するので、日本メーカーの皆様にも負担少くご参加いただけます！（担当：メルケ）

BEAUTY DÜSSELDORF 2017
国際コスメ・ネイル・フットケア・ウェルネス・スパ展
2017 年 3 月 31 日～4 月 2 日（ドイツ・デュッセルドルフ）

BEAUTY DÜSSELDORF は、毎年春先に行われる、歴史と実績ある専門メッセとして、ドイツ・欧州に根付いています。それを示すように、本年 3 月回に 1,500 もの企業・ブランドが出展、およそ 55,000 人が来場し、活発な商談が行われました。併催プログラムも充実の本メッセで、貴社の製品を売り込んでみませんか？　出展のご相談はこちらから（担当： 村上・橋木）

MEDICAL FAIR INDIA 2017 – インド国際医療機器展
2017 年 4 月 6 日～8 日 （インド・デリー）

メッセ・デュッセルドルフ・グループが開催するインドでの医療機器展。23 回目を数える同展は、インド･マーケット開拓にご興味のある方に最適な見本市です。出展者数も前回 447 社（海外 289 社）、来場者数 10,400 名と回を重ねるごとに増加しています。将来的には世界最大の人口を抱えるインドは長期的に巨大マーケットです。販路開拓も長期的戦略が必要ですが、足がかりとして是非ご出展ください。　同展概要はこちら　（担当：服部）

interpack 2017 – 国際包装産業展
2017 年 5 月 4 日～10 日（ドイツ・デュッセルドルフ）

現在、まさに interpack への出展をご検討のお客さま、弊社企画の『ジャパン・パビリオン』で、貴社製品・技術を、効果的に世界へアピールしてみませんか？残小間わずかではございますが、まだお申し込みを受け付けておりますので、お早めにご相談ください。なお、単独出展につきましては、キャンセル待ちにてお受けしております。　（担当：橋木）

wire Russia 2017 – ロシア国際ワイヤー産業展
2017 年 6 月 5 日～8 日

ロシア線材業界で有効な専門メッセとしてその地位を築く「wire Russia」。同市場のマーケティング、ならびにビジネス拡充に、「wire Russia」への出展をご検討ください。各種ご案内はこちらから　（担当：ユング）

Metallurgy-Litmash 2017 –ロシア国際冶金 機械 プラント 技術展
Tube Russia 2017 – ロシア国際管材製造加工・技術展
2017 年 6 月 5 日～8 日

毎年開催の本 2 展は、ロシアならびに周辺諸国の管材・金属産業を代表する専門メッセへと成長を遂げ、関係者に積極的にご活用いただいています。ロシア・CIS 諸国への参入あるいはビジネス拡充に最適な本 2 展へのご参加を、ぜひご検討ください。各種ご案内はこちら（Metallurgy-Litmash）、あるいはこちら（Tube Russia）から。

（担当：ユング）

MEDICAL FAIR THAILAND 2017 – タイ国際医療機器展
2017 年 9 月 6 日～8 日 （タイ・バンコク）

メッセ・デュッセルドルフ・グループが開催するタイでの医療機器展。8 回目を迎える同展は過去最大規模での開催を予定し、会場フルブッキングは必至（前回実績：出展 594 社・来場 7,226 名）。日本からの出展者 31 社。同展は偶数年開催のシンガポールとの相乗効果、また過去の開催実績が業界で評価され、来場者の質もリクエストも高まっており、商談の質も上がってきております。東南アジアの販路開拓をご希望の方は是非ご出展ください。 （担当：服部）

上記以外の開催間近のメッセ情報につきましてはこちらのメッセ・カレンダーをご覧いただくか、こちらよりお問い合わせください。

編集･広告に関する問い合わせ先：

㈱メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1
ニューオータニ ガーデンコート 7F
Tel.:03-5210-9951 Fax:03-5210-9959
Mail:info@messe-dus.co.jp
Web:www.messe-dus.co.jp